

あかるいまち 21

No.1722 2025 年 4 月 18 日
組合員活動推進課 082-532-1264

	4 月	2025 年度
組合員ふやし	59 人	59 人
出資金ふやし	1,073 万円	1,073 万円
純 増	△347 万円	△347 万円

「税制・社会保険の壁」と私たちの暮らし ＝年収の壁を越えて「ジェンダー平等」を＝ ～理事会社保平和委員会～

隔月で実施している公開学習会（理事会・社保平和委員会が主催）、3月は28日に行われました。今回のテーマは、「税制・社会保障の壁と私たちの暮らし」でした。昨秋の総選挙以後、国政のうえでも焦点の一つになっている「一〇三万円の壁」をはじめ、税制や社会保障のいくつかの場面で設定されている「壁」について学び合い、あわせて「年収の壁を越えてジェンダー平等を」めざす契機にしたいと企画されました。難しいテーマでの学習の講師をお願いしたのは門田勇人さん、中小企業の労働組合が多く加盟する広島合同労組の書記長を務められています。

門田さんは、まず「女性低賃金の歴史」「女性の低賃金、根底にある問題」についてていねいにお話をいただきました。明治期の女性が置かれていた生活・労働の実態から始まり、戦時下での女性から日本国憲法施行後の女性の地位、女性の就業率の向上の一方での賃金格差、非正規雇用の拡大の流れと女性労働者の実態など幅広い角度からのお話に参加者が引き込まれるような感じでした。そのうえで、住民税課税の壁・一〇〇万円、所得税の課税が始まる一〇三万円、社会保険料が発生する一〇六万円、扶養からはずれ社会保障に加入する一三〇万円など税制・社会保障の「壁」について、詳しく説明いただきました。難しい税金や社会保障の制度についても細かく紹介いただきました。参加された方から「知らないことがたくさんあった」「税金や社会保障のあり方を考えさせられた」などの感想が寄せられました。

「知らないことがたくさんあった」「税金や社会保障のあり方を考えさせられた」などの感想が寄せられました。

社保平和委員会では、公開学習会のテーマ希望を募集しています。ご要望をお寄せください。

